

科目名 Course Name	病名登録における人体の構造 Human Body Structure for Diseases Coding			ナンバリング No.	D2-002		
年次	1	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	戸井田 睦美						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館2階研究室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>ICD コーディングによる病名登録において正確なコーディングができるよう、人体を構成する部位の名称・構造の知識を習得する。</p> <p>① 人体を構成する部位の名称と構造について説明できるようにする。 ② 人体の機能と構造から関連する疾患名のコーディングができるようにする。 ③ 体系的な疾病のコーディング知識を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	人体を構成する部位の名称・構造について講義を中心に学習し、それをもとに各器官の働きや疾病とコーディングについてのグループワークと発表を行う。						
学習成果	L01	人体を構成する各部位の名称と構造、機能について説明できる。					
	L02						
	L03	体系的な疾病のコーディング知識を身につけることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストはテスト後に模範解答を示し、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版)、ICD コーディング、資料配布						
履修上の留意点やルール等	コンピュータ教室は飲食禁止である。各自 USB メモリを持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:病院事務 職歴:通算8年)病院事務としての経験を、詳細な疾病のコーディングについて説明する際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に積極的に取り組んでいる。	15			
レポート/作品	レポートの提出期限を守り、自分の考えを論理的にまとめている。	10			
発表	グループごとに各テーマについてパワーポイントを用いて発表を行う。発表内容(十分な考察、発表媒体をわかりやすくまとめている)や発表態度で評価する。			25	
小テスト	授業の進捗に合わせて確認テストを行い、理解度に応じて評価する。	30			
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。			20	
その他					
合計		55		45	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 病名登録における人体構造理解の必要性
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問する。準備物について確認する。
2	授業内容	全身の区分 確認テスト(1)
	事前・事後学習	図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
3	授業内容	筋・骨格・皮膚 確認テスト(2)
	事前・事後学習	図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
4	授業内容	頭部(脳・神経・感覚器) 確認テスト(3)
	事前・事後学習	図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
5	授業内容	胸部(肺・心臓) 確認テスト(4)
	事前・事後学習	図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
6	授業内容	上腹部にある各臓器 確認テスト(5)
	事前・事後学習	図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
7	授業内容	背部にある各臓器 確認テスト(6)
	事前・事後学習	図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
8	授業内容	がんの種類とコーディングの注意点 グループワーク①
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
9	授業内容	内分泌の疾患とコーディングの注意点 グループワーク②
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
10	授業内容	血液循環器系の疾患とコーディングの注意点 グループワーク③
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
11	授業内容	免疫系の疾患とコーディングの注意点 グループワーク④
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
12	授業内容	運動器系・循環器系・呼吸器系の代表的な疾患 グループワーク⑤
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
13	授業内容	消化器系・泌尿器系・生殖器系の代表的な疾患 グループワーク⑥
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
14	授業内容	神経系・感覚器系・産婦人科系の代表的な疾患 グループワーク⑦
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。
15	授業内容	全体の構造と主な疾患名 まとめ *発表・レポート提出
	事前・事後学習	グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。